



マンスリータイムズ(令和6年度)

みはま

10月号①

ゲストティーチャーから聞く「生き方・在り方」の授業

9月26日(木)、高等部二学部では「産業社会と人間」の授業(学校設定科目)へ、美浜オーキッド(胡蝶蘭の生産販売業)の中井さんをゲストティーチャーとしてお招きし、中井さんの現在までの歩みや高校生時代に考えていたこと、地域である美浜町への想い等を話していただきました。ゲストの方のお話を聞くことで、「現在・将来の自分について考える」「自分らしく・豊かに生きるために私が大事にしたいことについて考える」機会とするという目標で臨みました。中井さんが、いくつかの人生のターニングポイントを紹介しながら自分の歩みを話してくださったので、参加した高2高3のメンバーは、興味をもって聞くことができました。

また、輪になっての対話タイムでは事前学習で考えた質問をもとに、積極的に意見交流をする姿がみられました。「高校時代に読んでいたマンガは?それに影響をうけた部分はありますか?」「部活は?」「仕事を始めてから一番しんどかったことは?」「中井さんにとっての美浜町は?」など、いろいろな話題で意見交流をすることができました。進路選択で悩み迷いながらも友達の後押しを得て決断したエピソードや恋愛についてなど、自分たちに身近な高校時代の話題では、特に盛り上がっていたように思います。

最後に、中井さんが大切にしていることとして伝えてくださった、「人のせいにしない」「たくさん体験・経験する」「『恩』『運』『縁』を大切にする」については、いただいたメッセージとして事後学習でも振り返りました。今回の取り組みで得たことを、今後の自分たちの生き方・在り方につなげていってほしいと思います。



この取組を実施するにあたり、学校運営協議会でも協議をしたり、講師との連絡をとっていただいたりしました。当日も中西委員が参観してくれました

学校運営協議会コーナー

今回は大沼委員を紹介します。



委員さんはこんな人!その④

今回は

大沼 義記(おおぬま よしき) 委員
を紹介します

はじめまして、大沼です。私は約20年間、旅行会社に勤務し「旅行のプラン作成・添乗員」などをしていました。

昨年、就労継続支援B型事業所で「シルクスクリーン印刷・農福連携事業」などを1年間行い、この4月から就業支援ワーカーとして、障害があるかたの職業生活における支援を行っています。

Q:みはま支援学校の卒業生の様子を教えてください。

就職した当初は、環境の変化に戸惑っている方もいましたが、徐々に職場にも慣れてきたようで、日々自分のペースで頑張っています。

Q:福祉の立場からみはまの生徒にエールを一言。

みはま支援学校での生活の中で、1つ自分の「好きな事・興味がある事・夢中になれる事」を見つけて下さい。将来きっと自分の役に立つ時が来ると思います。

Q:休日は何をしていますか。

今年から、畑を借りて農業を始めました。そばとマコモを栽培しています。



Q:好きな井は何ですか?

からあげ井